理工系留志野校舎学友諸君に訴える

我々の元々自に属する若干の問題、留志野校舎は廃棄場所とし、本日、授業が再開されようとしている。大阪電生産工学部長は留志野校舎の管理運営権を掌握する事により、強引にと我々の未来を破壊し、我々の声を圧殺している。

我々は決定的な不利と義務である教育権さえ奪われていいのである。大阪工学部長は自己の存在と自己体制の延命のみ物理的弾圧に頼んでいるのである。この特殊な時代と真の学問を成し得るのであろうか？留志野校舎学友諸君に再度訴える。

考えよ！討論せよ！行動せよ！

ここに最大最善を尽研究者である知恵の象徴の一節を引用してこの文章に強い共感と固い連帯を求める。

**「沈黙をしめて、孤立を恐れない！
力強くすべて個性ある事を尊ぶ
力尽くしてたたかう事を拒否する。」**